

相模原市協働事業提案制度

相模原市さくらさくプロジェクト推進事業

事業実施計画書

平成30年度

相模原市さくらさくプロジェクト推進協議会

事業の目的・必要性

1 背景

桜は相模原市シティセールスの第一戦略として掲げられている。平成24年度相模原市ブランド戦略会議では、本市の目指すべき都市ブランドイメージとして「住みやすく発展を続ける都市」が設定され、桜はその中で「さくら＝潤い・コミュニティ」と位置付けられた。桜名所は、市役所さくら通りや津久井稲生の桜山など市内各地域に広がっており、多くの市民に親しまれ愛されるその風情は、相模原市民桜まつり（4月）の活況が物語っている。

当協議会設立後、これらの市民参加・協働による桜の植栽・保全活動、持続的な桜景観の創造に関わる人材（桜守）の育成、桜情報の発信、桜を核とした観光・ソフト化産業の開発など「桜を仲立ちとした人と自然が共生する環境の形成」の事業を実施し、その最大の成果として「さがみはら桜守の会」（以下「桜守団体」という。）を立ち上げる事ができた。今年度は、当協議会はこの桜守団体が独自の団体として活動するための支援を実施する。

2 目的・必要性

本事業は桜守団体を支援する事業と、当協議会として実施する事業で構成される。これらの事業を実施することにより、桜の保全、植栽活動を継続的に実施し、市民の憩いの場の確保及び創造を実施する。

各事業における実施目的は以下のとおり。

No.	事業名	実施目的
1	桜の植栽活動	環境保全活動の促進、及び絆づくりを深める。
2	桜守の募集	桜守団体会員を継続的に募集し、活動の継続を図る。
3	情報発信	当協議会の活動等を発信することにより、桜の普及啓発活動の発展に寄与する。
4	その他	桜守団体の補助を行い、桜の普及等に寄与する。

事業の実現

1 桜の植栽活動

市民参加型の桜の植栽活動に取り組む。植樹式等に地域住民を中心とした市民にご参加いただき、5年後、10年後に花を咲かせる桜に思いを馳せ、継続的な関わりも期待できる。桜名所を仲立ちとして人々が集う場が増え、観光面の貢献も期待できる。

○ 実施計画

事業名	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
桜の植樹（1～2件）												○

2 桜守の募集育成

持続的な桜景観の創造には桜を守り育てる「桜守」が欠かせない。そのために桜に対する知識・技能を身に付けた桜守により構成された桜守団体が継続的に活動を実施するため、定期的な桜守団体会員を募集し、桜守団体会員がその知識や技術を伝導し、育成にあたる。

また、日本花の会から派遣される講師により、桜に関する講座を実施し、知識や技術の醸成を図る。

募集計画

事業名	目標人数	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
桜守の募集	30名									○			

※会員は前年度桜守養成講座修了者加入後、秋以降に翌年度加入者を募集する。来年度以降は随時募集を行う。また、その会員の育成については、随時活動時に実施する。

講座実施計画

事業名	参加目標人数	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
講座	30名									○			

3 情報発信

当協議会HPにフェイスブックをリンクし、当協議会の活動を発信することにより桜の普及啓発活動の発展に寄与する。

○ 実施計画

事業名	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
HPを通じた情報発信	随 時											

4 その他

桜守団体と共同で実施する桜の植樹場所、桜守団体の活動場所、パンフレット配布、その他桜守団体が実施する事業に関係する各機関と調整を行うことで、桜守団体の各活動を補助し、桜の普及啓発活動を実施する。